

# 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

平成25年度

施設名	新潟市母子生活支援施設ふじみ苑		
管理者名	社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会	指定期間	平成21年4月1日 ~ 平成26年3月31日
担当課	福祉部こども未来課		
所在地	新潟市東区		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市母子生活支援施設設置条例		
施設概要	敷地面積 2432.03㎡ (老人デイサービスセンター部分を含む) 建築面積 931㎡ (老人デイサービスセンター部分を含む) 延床面積 1481㎡ 建物・構造・主な施設内容 鉄筋コンクリート3階建て 居室 18室 (うち1室身体障害者対応居室) 共有部分 事務室、相談室、多目的ホール、図書室、静養室等		

施設設置目的	
<p>配偶者のない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童を入所させて、これらの者を保護するとともに、これらの者の自立の促進のためにその生活を支援し、併せて退所した者について相談その他の援助を行う。</p>	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
<p>母子生活支援施設には、DV被害を受けた利用者はじめ、多くの課題を抱えた母子が入所しており、その入所時から退所後の地域での生活も含め、長期にわたり、母子を総合的に支える役割が求められている。利用者である母子の立場を尊重し、信頼関係を構築し、ともに課題を解決していく視点を持ったうえで、子育て、生活支援、就業支援なども含めた総合的な支援を行っていくものとする。</p> <p>(1) 利用者の尊重</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの最善の利益に配慮した援助を行う。子どもが自由に意見表明できるよう信頼関係の構築、雰囲気作りに努め、本人の個性や意見を尊重する。</li> <li>・母親の希望や意思が十分発揮できる環境を整え、自己判断を大切にサポートを行う。</li> </ul> <p>(2) 生活の安定・向上への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達段階に応じて、保育や学習などの必要な支援を行う。</li> <li>・利用者が前向きに自立への意志を持った生活ができるよう相談体制を整備する。</li> <li>・個々の利用者に応じた適切な支援計画を策定し、社会的自立への意欲を高め、継続した就労に励むことができるよう支援する。</li> <li>・必要に応じて子育てについての助言援助、家事支援等の生活支援を行う。</li> </ul> <p>(3) 安心安全な生活環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常に明るく和やかで、暖かな人間関係に包まれた環境を基本に、生活の場として快適なものになるよう配慮する。</li> <li>・緊急時の対応マニュアルの整備など、危機管理を適切に行う。</li> </ul> <p>(4) 資質向上への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に研修に取り組み、職員の資質向上を図る。</li> </ul>	

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	自立支援計画の策定	計画策定率100%	全世帯の自立支援計画を半年ごとに作成した。	B	自立支援計画を策定し、これに基づいた支援を実施している。
	利用者満足度	施設運営に対する聞き取り調査やアンケート調査の実施 年1回	1月に母親と子ども(小学校4年以上)に分けて、アンケート調査を実施した。	B	アンケートなどを活用し入所者の意見や要望を引き出せる環境づくりに努めている。
	苦情・要望に対する対応	苦情対応の第三者委員の配置 2名	地域の主任児童委員2名を第三者委員にお願いした。	B	適正に配置している。
	緊急時の適切な対応	緊急時対応マニュアルの研修実施 年1回	危機管理マニュアルにもとづいた避難訓練を実施した。	B	目標達成
財 務	管理運営経費の縮減	入札、見積り合わせなど、管理的経費縮減に努力すること	見積もり合わせや光熱費の節約を実施した。	B	経費の縮減に努めている。
業 務	防災対策の徹底	避難訓練の実施 月1回	様々な想定で月1回の避難訓練を実施した。	B	目標達成
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修 年1回実施	施設内で研修を1回実施した。	B	目標達成
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	業務仕様書の遵守に努めた。	B	仕様書の遵守に努めている。
人 材	配置人員条件の充足	有資格者を1名以上配置	施設長、母子支援員に有資格者が4人配置された。	A	目標人数以上の配置を行っている。
	配置人員の資質向上	計画的な実務研修実施 1人年2回以上	全員が2回以上、研修に参加した。	B	研修への参加のほか、第三者評価の結果についても検討し事業に反映させるよう努めている。

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていな

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

支援の基本を入所者との信頼関係と考え、母子の気持ちを尊重する対応を心がけてきた。その結果、苑の雰囲気や暮らしやすさに対するアンケートの母子の肯定的評価は81%であった。また、改革を進めるために第三者評価や自己評価などを職員全員で検討し、事業計画に反映させるようにしてきた。  
職員には、自ら資格取得を目指したり、進んで研修を受けたりする者も多く、専門職としての自覚も高い。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 ( 所 見 )

DV被害者の保護・自立支援や、母親への生活相談・就労支援、未就学児の補助保育、学童への学習支援など母子が抱える課題に対し適切な支援を行っており、母子生活支援施設として入所者の自立の促進、生活と保育の支援、児童の健全育成等の業務を適切に行っている。  
総合して良好な施設運営を行っており、指定管理者として優良と評価できる。